

令和6年度 第1回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和6年8月6日（月）午後2時から

場所 防府市創業・交流センター2階会議室

出席委員 12名

欠席委員 2名

事務局 8名

1 開会挨拶

【市長】

人手不足の中、金利や最低賃金の引き上げが決定されるなど中小企業は厳しい状況下にある。中小企業者に寄り添った施策を講じていきたい。

9月に競輪場、11月には新庁舎が竣工するなど、防府のまちは元気に動いている。こうした流れを市内経済の活性化につなげていきたい。

本日は、中小企業の振興施策について忌憚のない意見を賜りたい。

2 令和5年度中小企業振興施策の実施状況及び令和5年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について

【事務局】

令和5年度中小企業振興施策の実施状況及び

令和5年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について説明

資料1-1、1-2、1-3、2、3、4

意見等

【A委員】

物価高騰の中、企業は、価格転嫁や賃上げ、さらにはデジタル化、カーボンニュートラルにも取り組んでいかなければいけない。自社でも太陽光発電を導入し、活用している。CO₂削減につながる事例を示し、省エネなどできる範囲から取り組んでいけばカーボンニュートラルにつながる。

【会長】

山口県地球温暖化防止活動推進センターでは、県内の中小企業者等を対象に専門家と連携した省エネ診断により既存設備の運用改善等のアドバイスが受けられる事業を実施されているので、このような支援制度について周知いただきたい。

【B委員】

山口県から委託を受けて、脱炭素化に係るセミナーの開催やロードマップを作成する事業を行っており、事業者や支援機関を対象としたセミナーを開催している。昨年、「カーボンニ

ュートラル」という表現でセミナーの募集を行ったがなかなか人が集まらず、「省エネ」や「SDGs」といった表現、本題に本題を通訳したような言葉を添えると参加者が増えた。事業を実施する際は、分かりやすい言葉を使うよう工夫している。

【C委員】

D Xの取組事例を市のホームページに掲載いただいているので参考になるが、中小企業にとっては結構ハードルが高い。事業者によってはどのパソコンを買おうかというところから始まる場所もあり、生成AIなど出てきて余計分からなくなっている状況だと思う。

【事務局】

ホームページへの掲載のほか、コネクト22のセミナーなどでD Xの取組事例等を分かりやすく紹介していきたい。事業者によってデジタル化の取組状況は異なると思うので、寄り添える形で行っていきたいと思う。

【C委員】

先ほどB委員が言われたように、難しい表現を使わず、分かりやすい表現を使っていけば、事業者の興味をひくと思う。

【D委員】

会報にY-BASEのコンサルを受けてデジタル化に取り組まれた企業の取組内容やメリットを掲載し、事業者に紹介した。会報を見てY-BASEに相談に行かれた事業者もあった。今後も市と一体となって市内事業者に対し、取組事例等を紹介していきたい。

【A委員】

昨年の10月頃から約1,000万円かけてデジタル化の事業を行っている。膨大な量があるので東京の事業者にお願いしたが、そこから下請け業者に出されていて、なかなかやりとりができず、うまく進んでいない。近くに人材がいればと思うが、仕事を理解しながら進めていくとなると、相当な時間を要すると思う。いつ完成するのか、何のためにやっているのかというようなことが起こってくる。デジタル化の難しさは恐らくこれだと思う。人手が足りない。逆に手が掛かり、頭を抱えている。

【会長】

需要側と供給側の思いが微妙にずれていて上手に伝わらず、うまくいかないという話はよく聞く。県内の大学でもD X人材の育成を進めているが、すぐに卒業生が出るということにはなっていないので、今後、そういったところを埋められるような人材を育成していきたい。

【D委員】

商工会議所にもA委員が言われたような相談が多くある。Y-BASEであれば近くで専門家からアドバイスを受けることができるので、Y-BASEの利用について紹介している。

また、副業人材についても、少し研究をしている。

【会長】

プロボノと言われる専門の知識を持ちながらボランティアで様々な課題を解決していくということを盛んにされている方もいる。

副業で特技や専門的な知識を活かして、企業に貢献していただくことも場合によっては可能だと思う。

そういった人材を活用できる仕組みを作っていけないのかなと思う。

【E 委員】

為替が急激に変動しているが、その影響はまだ見えない。日本銀行の金利の引き上げが発表されるので、近隣でも 9 月以降の短期プライムレートを引上げる銀行があるという話が上がっている。実際に引き上げになると中小企業への影響もかなり出てくるのではないかなと思う。

【F 委員】

コロナ融資の返済が始まる中、コネクト 22 などでも中小企業の相談業務を非常に積極的に行っている。原油価格・物価高騰対策資金もしっかりご利用されているが、返済負担が軽減できれば、といった意見もある。

【D 委員】

最近では、人手不足や物価高騰に関する相談件数が増えている。生産性の向上に取り組むようアドバイスしており、市の補助金等を活用して業務の効率化や省エネ等に取り組まれ、収益性が改善した事業者もある。

【G 委員】

人手不足は以前からあった問題ではあるが、働き方改革関連法により時間外労働の上限規制が今年の 4 月から施行され、就業に関する時間が減った。

人手を確保するには、人を雇える資金が非常に大切。法に基づく支援等が整備されているが、お客様と交渉に当たると、もっと安い業者の方に移ってしまい、回収できる運営資金も無くなるなど、非常に顕著に問題が出てきている。

市内では運輸業の倒産はないようだが、全国的には 1 月から 6 月の間に約 180 件の倒産があったと聞いている。今後、経営者の高齢化と相まってドライバーの高齢化の加速化が非常に懸念される。

産業全体においても人手が不足している中、運輸業は、低賃金ということもあり、人材の確保が難しい。売り手市場となっており、就業しても運輸業の中で条件のよい会社に移る、高賃金かつ好条件な産業に転換を図る若い方が多く、非常に苦労している。

【H 委員】

防府の 6 月の有効求人倍率は 1.17 倍。就業地別の有効求人倍率は、ここ 1 年 1.6 倍前後で推移

している。ハローワーク利用者のうち 65 歳以上の方の割合が、2018 年度は 9.6%、2023 年度は 15.8%と約 2 倍に増えている。ハローワークを使わずに、インターネット等で民間の事業者を利用する若者が増えていることもあり、利用者層が高齢化している。

地域別最低賃金改定が目安額が発表されたので、今後動きが出てくると思う。

【D 委員】

コネクト 22 と防府市で連携して事業承継塾等を開催し、去年は 1 回に 5 人程度の参加があった。親族内承継、M&A に近い事例もあった。早い段階で事業承継について意識していただき勉強いただくことが大事。

4 令和 6 年度中小企業振興施策等について

【事務局】

令和 6 年度中小企業振興施策等について説明

資料 5、6、7

意見等

【B 委員】

以前、採用に繋がる求人票の書き方セミナーを開催したときに、就業規則に有給休暇や時間外労働の考え方が明記できない、フレックス制度の導入が可能なのに導入していない、女性が働きやすい職場環境の工夫や自社の魅力を P R したいが、書けることがないといった課題が見つかった。

防府市では、職場環境の見直しや就業規則等の作成、見直しに対する支援など、人手不足対策事業について、非常によく考えられた施策を実施されていると感じた。

私の所属する団体では、事業協同組合があり、30 以上の事業組合が外国人技能実習生を受け入れており、制度の改正に向け、様々な要望をし、ようやく見通しが立ってきた。

特に転籍の制限緩和に対し、非常に危機感を感じられており、「最低賃金を一緒にしてほしい」といった声もあった。就労性にポイントを置いた制度になっており、就労環境が大きく変わるのではないかと感じている。

【A 委員】

特定技能実習の受け入れを行っているが、住居の確保やゴミの分別など様々な問題が起こる。言葉の問題もあり、全て外部委託で対応している。人手が不足する中、外国人労働者を受け入れていかなければいけないが、どうやって受け入れ環境を整えていけばいいか。外国人労働者に対し、日本人と同程度の賃金を支払っているが、賃金が高い都会に流れていく方が多くなると思う。暮らしやすく、住みやすくしていけばある程度残ってくれると思うので、どうやって防府市に定着してもらうかを市全体で考えていかないといけないと思う。

【副会長】

中小企業の場合、画一的な就職サイトに求人を出すよりも、むしろ自分たちでも魅力を発信していくような場を作るとか、社長が前に出ていくよりも、社員の方が自分の会社を発信するなど、

様々な発信の仕方があるかと思う。

【A委員】

ハローワークや民間、学校関係等に常に情報発信をしていくのは難しく、ホームページの見直しなどをしていくしかないと思う。インスタグラムの活用などもあるが、他の会社がどのように採用しているかということも非常に参考になる。

また、若者の基礎的な学力の低下や応用力が足りないとか理解力が落ちていると感じる。若者を雇用して育成をするが、続かない。教育と実際の社会の現場とのミスマッチが発生していると思う。

採用だけでなく、どうやって定着させていくか、みんな頭を抱えていると思う。

【副会長】

そういったミスマッチを解消していくような経済理論がたくさんあるので、今後紹介していきたい。

【A委員】

経済理論にはあまり詳しくないので、まずどうやってご飯を食べていくのかという方が先になる。高校や大学で、インターンシップを増やすなど学生たちをどんどん社会に出していくという方が早いのではないかと考えている。

【会長】

教育の本質的な問題もあり、なかなかここだけで解決できる問題ではないかもしれないが、何らかの対策が打てると良いと思う。

【I委員】

私の子どもは、ゆとり教育を受けた世代。学校の環境や家庭環境が大きく影響していると思うところもある。子どもに、社会に入って目標を持っているか、どうなりたいかを考えられる自分であるかということを教えたことがある。目標を持ってそれを自分でどう組み立てていくかということもこれから生きていくのに必要になってくると思う。

【J委員】

私は、スキマ時間で働いている。物価高騰の中、賃金上がるのは嬉しいが、103万円や130万円の壁が大きく立ちはだかってしまい、12月頃になると健康保険から外れてしまうので、働く時間を抑制している人も多い。

【市長】

～閉会 挨拶～

本日は貴重な意見をいただき感謝申し上げます。

中小企業者にとって分かりやすい表現を使うように工夫をしているという意見があったが、コネ

クト 22 や防府商工会議所と一体となって取り組んでいきたい。

人手不足について、非常に厳しい状況であるという意見を伺った。しっかりと取り組んでいきたい。

物価高騰の中、最低賃金や金利が引き上げられるので、どのような影響があるかをしっかりと分析して新年度予算編成を行っていく。今後も委員の皆さんの意見を参考にさせていただきながら、中小企業振興施策を実施していきたい。

【事務局】

以上で、令和 6 年度第 1 回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 午後 3 時 40 分